



2021・7・7
No.12

大地の恵み～ふたば園で育った野菜と果物～

4月に土づくりから手がけた菜園で育てた野菜や果物たちが次々と実りの時期を迎えています。
”中休み”の長い梅雨ですが、日射しがある分例年より育ちのよい物もあります。それを自分たちで収穫して、
幼児クラスではクッキングしたり、乳児クラスではお家に持ち帰っていただいたりしています。

ぱんだぐみでは、“スナップエンドウの胡麻和え”や“イチゴジャム”を自分たちでクッキングして、給食の
時間にいただきました。



乳児クラスでは、キュウリを栽培しています。苗を植えて1～2週間は、生育がゆっくりで心配してしま
したが、梅雨に入った頃から順調に成長しました。例年なら、ひとりあたり2～3本収穫できれば喜んでいたと
ころ、今シーズンは5～6本目まで届きそうなくらい“豊作”です。



お家に持って帰ってからは、“胡麻和え”や“そうめん”“冷麺”になっ
たり、“バンバンジー”や“チキン南蛮”のつけ合わせにさせていただいたり
していると、お知らせをいただきました。

自分たちで育てて、収穫したものを、クッキングしたり、自分で食べ
たりすることが”食育”であり、”生きる力”につながると考えています。
そんな中で、大地や自然の恵み、また”いのち”をいただくことに感謝す
る気持ちを大切にしてほしいと思っています。

お家でも、わずかでもいいので、“年齢に応じた仕事”を“お手伝い”とし
て与えてあげてください。その”達成感”が家族の一員としての
”自信や誇り”につながると思います。



バックナンバーをカラーでどうぞ…